

所属・資格 地理学科・助教

申請者氏名 中岡 裕章

研究課題		地域環境を活かした地域づくりの可能性と課題
報告の概要	研究目的 および 研究概要	近年、地域主体によるまちづくり・地域づくりのあり方が模索されており、自治体と地域住民との共同による取り組みがより一層求められている。それは、自治体の財政難もあり、地域に既存する資源を活用した官民共同によるまちづくり・地域づくりの重要性が増しているからである。先行研究では、地域のある側面にのみ着目し、成功事例として取り上げることが多いが、地域個々には多くの課題が山積しているため、地域社会を様々な観点から分析することが必要である。このことを踏まえ、地域の自然や文化、歴史、地理的条件といった地域特性を把握することはもとより、自治体や住民などの地域関係者の方向性を十分に理解し、持続可能な地域社会の実現を目指すための議論を重ねる。
	研究の結果	日本における国立公園についての文献資料を収集し、公園ごとの認定時期とその時代背景、および各々が抱える課題を整理した。また、論文・著書のレビューを行い、既往の研究方法、視点、調査方法を整理した。さらに、過去に実施した調査結果を用い、自然ツーリズムが成熟した北欧諸国における観光実態の把握も行った。
	研究の考察・反省	新型コロナウイルスの影響により、現地調査を遂行できなかったため、対象地域の具体的なデータを取得できなかった。各種文献や過去の調査データを用い、地域環境の活用状況や、そこに展開するツーリズムの実態把握を試みたが、1次資料の不足は大きな痛手となった。新型コロナウイルスは収束しつつあり、次年度には本格的な現地調査の再開を目指す。
研究発表 学会名 発表テーマ 年月日/場所	研究成果物 テーマ 誌名 巻・号 発行年月日 発行所・者	<p>【研究成果物】</p> <p>中岡裕章・任海・遠藤有悟・大石治憲・笠原茂樹・佐野充(2023年2月28日) 北欧諸国における国際ツーリストの観光行動分析. 日本大学文理学部自然科学研究所研究紀要 58 9-18.</p>